

創立百周年をようよう!! 盛大に迎えよう!!



(第 14 号)
発行所 高松市番町二丁目
高松高等学校内
高松高等学校玉翠会
責任者 大西 潤甫
印刷所 石田印刷所

波乱の日本と共に二世紀 百年の伝統を次の世代に

いよいよ今年は母校の創立百周年を迎えることになり、これを記念しての行事を実現するため百周年記念行事実行委員会の設立が昨年六月の代議員総会で承認され、同時に委員会の基本計画に従って小委員会がそれぞれの実施計画を立案することとなった。小委員会では学校側、関係各方面と何度も折衝を続け、その具体的な計画を本年二月の臨時代議員総会に提出、承認を受け、更に「記念行事等について」趣意書も同時に可決された。

創立百周年を記念する数々の行事を成功させ、次の世紀に此の伝統を引き継いで母校が益々発展する様に同窓各位全員のご協力をお願いする次第です。

香川県立高松高等学校 創立百周年記念行事等について 趣意書

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、玉翠会の活動にご理解、ご協力をいただき、感謝いたしております。

本校は、香川県尋常中学校として明治二六年に高松市五番丁に、また、進徳女学校として明治二四年に高松市天神前に創立せられ、その後、それぞれ香川県立高松中学校、香川県立高松高等女学校となり、さらに昭和二四年に両校を統合して今日の香川県立高松高等学校と称せられて、百年の星霜を閲しました。この間、四万余名の入学者がこの学舎において、その青春期に心身を錬磨し、真理の探求に努めたのでありますが、その足跡を尋ね、さらに新たな未来への発展を期して、ここに創立百周年を記念することは、誠に喜ばしいことであります。

本校創立以来の百年は、わが国がようやく近代国家としての体制を整え、やがて列強に互に立ってゆくとする道程から、次第に世界大戦に突入り、幾多の苦難を経て、戦後の復興と繁栄を迎える時期にあたります。この時代に、本校を支えたものは、至誠一貫といひ、良妻賢母といひ、好學進取、自主独立といってきたものでありますが、そこで変わらぬものは、中等教育界において名門としての地位と幾多のすぐれた人物を輩出してきたことであります。これは、学校を指導された歴代の校長、旧職員、ならびに関係者多数の方々の努力と、純真に道を求めた生徒とが一体となって高貴スピリットともいふべき伝統を形づくってきたところによるのであります。

人生はいつも青春であるといわれます。とりわけ、その荒々しい矜持と焦燥の時期をふりかえり、それを懐かしむ年として自分を確かめてみたいものであります。これを機に、次のような企画が進められており、代議員の方々を中心に会員諸兄姉のご理解とご賛同を求めて参っております。ここに、実行委員会を代表し、母校の創立百周年を祝すとともに将来に向けて母校の伝統が新しい力をえて発展していくことを期待して、会員諸兄姉の積極的なご参加をお願いする次第であります。

平成五年二月吉日

香川県立高松高等学校 創立百周年記念行事実行委員会

玉翠会 会員各位
PTA 会員各位

記

一 記念式典 平成五年十一月二七日(土)午前二時より
会場 高松高等学校体育館

二 記念祝賀会 平成五年十一月二七日(土)午後二時より
会場 高松市総合体育館
会費 六、〇〇〇円

三 記念誌「高松高等学校百年史」(限定版) 発行
A4版 約五〇〇ページ
平成五年十一月発刊予定
価格 六、〇〇〇円

(お申し込みは同封の専用振込用紙でお願いします。)
郵便局または百十四銀行本店並びに各支店窓口

四 記念音楽会「リートとアリアの夕べ」
平成五年十一月二六日(金)午後七時開演
会場 香川県民ホール

出演者 原田茂生(二六年卒) 東京芸術大学教授・音楽学部部長
林 康子(三七年卒) オペラ歌手(イタリア在住)

入場料 四、〇〇〇円

五 百周年記念モニュメント
百周年を永く語り継げるよう、モニュメントを残す建造物とは限らず、無形の物も含めて、……………。

一口二、〇〇〇円 百周年記念行事への全員参加を目ざし、募金を募る

六 「第九、響け歓喜の歌」
平成五年八月二日(日)午後二時開演
会場 香川県民ホール

ヨーロッパから歌手を招待し、生徒・卒業生・保護者等によるベートーベン第九交響曲第四楽章の大合唱の会
入場料は無料。参加費は楽譜代等の実費

※ 「第九、響け歓喜の歌」の参加は受付中
(練習日等の詳細は2頁上段)

七 平成五年版同窓会名簿発行
本秋発行予定です。に会員には学校から予約申込書が届いている筈ですがまだの方は、お早く玉翠会事務局へお申し込みを。

定価 五、〇〇〇円

(注意) 最近同窓会名簿を無断で複製、販売している業者があるとの噂です。名簿は玉翠会に直接お申し込みください。

百周年記念行事実行委員会 事務局

〒760 高松市番町三丁目一ノ一

香川県立高松高等学校内

電話 (〇八七八) 三二七二五

設のためのもではない」といって昨年の知事発言は「延べ特選期間の来庁者は一延の駐車場を奥園辺で使うらしい」との五月十四日の発表NHK・新十四日により、予想おろしくであったことが明らかになりました。

PRTへの対策委員会はこの二月に駐場問題に関する直稈の報告「高等学校の下に公益駐車場を」を免す。この購読希望の方は送料五〇円同封の上、工翠会事務局まで、お申し込みいただければ送付いたします。

あらためて申すまでもなく会費は玉翠会の運営上貴重な財源であります。特に本年の百周年をむかえ、財源の安定が急務となっておりますので、会員の皆様方としては会費の納入について格別のご協力をお願い致します。また代議員、支部役員、職場の幹事の方々のご援助により納入額の増加につとめたいと考えておりますので何卒よろしくお願い致します。

一三回(一名)太田顯
一六回(一名)細井照道
一七回(一名)煙草谷平太郎
一九回(一名)角陰栄松
二〇回(一名)星野義人

杉内武 渡辺陽一 角殿孝子 柏木リナ 山崎シヅ 川畑タミ子 宮
北敏子 市川ワタ 多田敏子 原田正 河瀬裕子 高橋良江 広瀬
ゲ子
S 六(五十四名) 香山幸子 逸見純子 市場黒英 大西チカ 香西京
台、藤沢孝子、山崎シエ 大岡孝子、平田孝 自井文 八代明子
半田アサ子、細田晃子、西本久美子、増田晴子、薮井マサ子、森繁子

子、藤井鶴野、敬下ふき、鶴井風、吉田貞、壬生藤子、山田孝子
松原ハナエ、松島直子、田村清子、喜多マヌエ、藤原キミエ、明友女子
渡辺美恵子、小野和子、高橋由子、宮武登美子、大西貴子、小倉久子
小倉文枝、森島隆子、高橋美子、宮武サツ子、小野和子、鎌田恵子
吉田千代子、楳野田井武子、佐佐シゲ子、遠藤祿子、浜野ツヤ子
七(四)子、葛田貞、高武孝子、早下貴子、北條子、藤井子、
松島直子、村清子、小笠原三寿子、本田登菜、中村貞代子、戸塚幸子

子、平井光、山下尊子、近藤清子、橋本ハナ子、岡野美江子、木暮実千代、太田真代、大島多恵子、角野光子、宮武敏子、中山喜美子、小野茂子、岩本芳子、大森歌子、逸見光子、東原ツタ子、河田アサ子、松原フミ子、伴美代子、朝日一美、小山トヨ子、谷本幸恵、河口登代、中井サタ子、岡村喜美、和田綾子、松本光江、真壁カキ、松野多子、園田博子、村井千子、小杉功米、岡代美、加藤多子、吉市ア子

S 八(五十)名 奴智勝子、木良子、高木枝、柏光恵、藤原
 子、馬場幾子、柴好枝、松原巳代、高木ハルエ、網頭ヤスエ、小佐
 勝子、松原ミチ、安典子、内田加代子、斎坂キク子、松崎智恵子、
 平田ハナ、喜多マサエ、三野文子、井上ヨシ子、柴好枝、大林信子、麻
 生美代、江村道子、藤原和子、中川美子、矢野トシ、井井恵子、前
 田シズ、徳圭子、河田スミ、高臨ヤチ、前田フミ、広田美賀、鶴尾

経澤、林英子、藤澤壽子、(平野滋子、豊田耕子、山下恵、井上久子、
 平井ノ子、梶原久未子、湯浅美恵子、新田恭代、堤キヌ、鈴木ツエ
 浜松典子、大石貞子、西岡フミ、水野次子
 S 九 四十一名、中光孝子、三木喜美子、宮脇マサ子、喜鶴孝子、和
 田タカ、大島貞子、池田節、穴吹洋子、横井ツチ、松原トミ子、小岩
 キタ、田中貞子、北山季子、青木仁子、秋谷喜美子、洪谷寿子、大塚

三(元)名 岩田和哉、松本利夫、藤田正典、磯藤 平次郎、
 多甲鶴子、河野孝子、上野友吉、都築顯、森越 三井麗子、西村
 彌太郎、寺嶋晴江、下津良子、井田昭、北澤淳二、江口一、篠
 原英、藤村雄雄、香川曉、増田英、中井桂子、青井信、轟鶴江子、
 原野、津浦昭子、衣谷下子、岡健一、島崎三、小河俊、増田孝
 岩野次、大谷敏、小谷代子、四宮美子、川越久子、大佛正一、
 川英、大越 勉、星野英、福家英、潮俊、太田多
 子、佐藤大、大場、増田英、太田浩、中村 芳、佐藤
 時美智子、奥田妙子、高橋雄雄、橋悦子、上壁久子、河越子、
 長川和子、久保幸一、斎藤剛、白曼子、雄倉俊、野村子、
 森芳、岡英樹、安格美、小林武己、野耕一、岩倉俊、磯部花子、
 森澤、武英、國成子、谷澤武成、久保久子、岸俊彦、中栗
 岡弘、小川、久曾達、安部武、田中敏子、畦純江、畠田津子
 櫻井文英、浜田敏子、石丸孝、近藤子、中尚英、中村咲一、多
 上章、今川幹也、伏見一、野村孝、上田英、林越孝子、深田
 紀、岡野子、浜野、綿子、種田公、植田英子、高橋
 溝和子、松野武、清光英、星野宏、肩子子、富田安子、三
 喜子、水原英、内海節、淺藏田、河野桂子、青井信、多田孝、四
 内傳、福原三子、川井慶子、六車孝、坂部子、塚田英司、中
 子、橋頭英、轟藤三、原茂子、山孝子、東瀬子子、大宮芳
 伊井正美、松松節子、淺野弘一、常孝子、本文子、中井桂子、喜
 俊、渡谷節子、谷美、安田秋雄、山下代子、三毛子、森藤、東
 正英、七條三子、田博子、高岡健一、武藤子子、尾崎子、松崎
 尾陽子、泉川和雄、中条泰子、藤孝子、小林英子、中
 賀孝子、木村高夫、今城、内海孝子、赤和智子、安野孝子、木
 順子、
 三七(貞八)名 今津輝子、仲野敏子、木田一慶、三村桂子、
 出井 秋山、佐野名子、平畑博雄、熊井康、長蔵、窪隆雄、
 松原三、池田隆、井川久子、井上慶子、山田孝子、大浦源、岡
 須孝子、白清子、石澤剛子、広瀬剛、岡廣、小島子子、山本孝
 三、北山睦子、岡岡美子、半田茂文、植田悠子、木渡一、福家賢
 小英、渡部剛子、谷野純子、五百鈴、西陽子、
 子、木谷敏、信濃隆雄、柚浦孝子、宇野子子、松松子、川野
 川村英、森崎子、明石多美子、林慧、高島樹、柳樹夫、柏原
 高松一幸、富田勇夫、大塚洋子、長野孝子、小由根子、高橋時典、大
 寿子、仁木子、中由春雄、畠山裕子、熊谷隆、廣岡和、苅生
 水野達子、藤田友子、竹内照、高橋正、毛利孝子、佐藤良子、
 坂、垣田賢子、早田子、栗原英、岡田誠一、水島孝子、杉岡
 富岡慶子、石井桂子、西野鶴子、大政昭、草未知、山本孝子、
 田茂子、河部英、横井義子、立山喜子、齋宮昌子、日峰子、泉
 満、松本洋子、福家信、古川隆三、三好洋子、高橋隆雄、浜田
 子、北岡美子、島藤英、神真、木村孝子、松岡信子、安
 子、上野剛子、谷孝子、大野誠子、大久保孝子、石秀英、林正
 麻生京子、成田恭子、徳田候、松生敦、藤島孝子、永野耕子、轟
 千也子、阿部恒子、橋川克英、藤澤洋子、高崎子、和泉和子、三
 尾久司郎、中村康子、市原英、松本孝子、松岡誠、棚山喜美恵、
 早子、谷美沙子、大橋孝子、山下美雄、恒吉祐孝子、松本孝子、
 野久子、高野芳子、山本良子、徳田佐子、杉原洋子、三毛孝子、佐
 華孝子、坂本文子、増田寛子、橋本洋、橋野通子、高岡隆、谷
 子、山本孝子、坂弘子、水嶋孝子、小松清孝子、澤藤夫、石原
 山口慶子、土田孝英、柏原孝子、西岡隆雄、川西孝子、福澤子
 渡津律子、高崎敏、相合賢智子、谷久美子、岡野博通、朝津恵子、
 岡孝子、安部孝子、辻正司、片山英子、池内智子、大久保孝、高橋
 子、久保代子子、渡田英英、津村裕子、長谷川順子、宮武子、渡
 川、本、松田子、平治治、松原孝子、
 三八(貞四)名 田井千秋、保原英、永正敏、井上洋子、川原

[illegible]

玉 翠 會 報

[illegible]

＜支出の部＞		
費 目	予 算 額	H5.3.31 支出額
式 費 関 係	6,000,000	
記念誌関係費※	36,000,000	
玉翠会員名簿※	35,000,000	
祝賀会経費※	12,000,000	
記念行事 (1)※	6,000,000	212,480
記念行事 (2)	5,000,000	2,000,000
記念行事 (3)	2,000,000	
100周年モニュメント	5,000,000	20,080
記念品制作費※	1,500,000	
記念誌執筆費	2,000,000	398,027
資料保存費	800,000	522,128
雑 費	1,155,000	294,132
予 備 費	1,000,000	
計 (1)		
※印の費目は独立採算とする (記念誌関係費の一部は除く)	113,455,000	3,446,847
計 (2)		
※印の費目を除いた計	22,955,000	3,234,367

平成四年度総会―過去最高の参加者で賑やかに開催

方が総会に参加されて
います。今回は十周年
というところもあり、担
当幹事の方々の熱心な
動員もあって最高の来
場者数となりました。
高松からは、平井照知
事、高松交差点から杉岡
おり、何とかこゝまで無事開催
続けられてます。今回の東京
リンスホテルでも嵐の間にとい
かなり大きな部屋が用意されま
した。今回の総会のプログラムは
周年を記念して、東京交差点の
年の軌跡という記事を載り、ま
た「二〇一一年の高松」東京の中

少産の時代に「第四子とは？」といふかる玉翠会会員の方も少ない。岡山玉翠会の兄さん、姉さんについて産声をあげた私が「徳島玉翠会」であります。

初めのメッセージを送ります
誕生日は平成五年五月十五日
「とさんの名は琴奈と申します。
東京玉琴会、玉琴会京阪神支館
のお礼申し上げます。」

まず最初に、不肖の第四子誕生
と聞いて、母校から駆け付けていた
だいた多聞校長先生、福教頭先生、
渉外担当の河合先生に心より
のお礼申し上げます。

来年の徳島大会にはより多くの
会員のご出席を得て、交歓の輪を
広げるとともに、折角誕生した徳
島平楽会が徳島県内で注目される
ような足跡を残したいと考えてい

ます。

皆さんのご支援を切望する次第であります。

最後にわが玉翠会のお世話役をご紹介させていただきます。

会長 松浦健司(昭和二十六年卒)

副会長 岩井武子(同二十年卒)

第四子の生母の親は大正十二年卒業の井口貞夫さん、昭和十四年卒業の長尾昌さん、事務局を務めていた阿部成夫さん（四十年卒）、結成大水まで諸準備に尽力いただいた太田裕之さん（三十八年卒）、森下史さん（五十八年卒）たち。皆さん創立百周年にタイミングを合わせて第四子を誕生させたいと、お忙しい時間を割いて西遊をして頂き、お

ます。
皆さんのご支援を切望する次第であります。
最後にわが主幹会のお世話役をご紹介します。ご了承ください。

会長 松浦健司(昭和二十六年卒)
△副会長 岩井武子(同二十年卒)
磯部淳一(同十九年卒)

東京玉翠会総会
H 5. 7. 10(土) 17:00
東京プリンスホテル
東京都港区芝公園3-3-1
TEL 03-3432-111

玉翠会京阪神支部総会
H 5. 10. 2 (土) 11:30~14:00
都ホテル
大阪市天王寺区上本町6-1-5

岡山玉翠会総会
H 5. 10. 16(土) 15:00
岡山プラザホテル
岡山市浜 2 丁目3-12
TEL086-272-120

六月七日の日曜日例年の様に、JR大阪駅前の阪神百貨店の、土

午前十一時より開催致しました。
母校より御来賓として校長先生
とお二人方の先生と大社晩翠部会
長と協理事のお二人方の五名様

母校百周年記念に百万円を贈る

この抽籤券の売上は防共への、また
ブレンデットされている。この
れ、戦前の慣習とは、大圖書寄贈
にあてられました。大騒ぎのうち
にの「アトラクショ」が終了する
と、その年総会もお開いに近づき
ます。四年度総会指揮の幹事、
四年卒業代表新組の君の援護
次回総会幹事四年生有志の紹
介があり、全員で校歌を唱えます。
壇上にはかつてならし応援団O
日も並びました。この大唱で、同窓
会も高潮です。また大唱、また
来年の声があちこちと交わされ

平成四年度、奉委、京阪神支部
会は、十一月七日(午後十二時
十分より大阪千里ニュータウン
にある「千里阪急ホテル」に
央に、本年卒の大先輩を
新進の若輩で「百発」の
模が集い、盛大に開かれまし
た。

当日は、「ご来賓として、母校
に四月に塩井段校長の後任とし

急行の準備状況を中心に、ま
杉岡校長からは新校のもとと
る二十世紀に国際社会を羽
ばたかす意気込みを述べ、
く材を育てていきたい旨のお
話があった。

この後、ご来賓の方々の紹介
前年卒の幹事を代表し織田久
子さんから会計・活動報告が
行われ、親会に移りました。

きたる話と美わ
総会
目万円を贈る
きうどんの串やおいしさをのべて、
についてスラウドを使った興
のお話があり、さめき出身のの
の皆様も熱心に聞き入っていました。
この「山田」さんによる、
うどん「真盛」先生のお話を記念
お土産としてさめきうどんを用
いたしました。皆様に愛お喜び
持ち帰りになっていました。

このページにご紹介し
 になつていくのは楽しい。四
 以外にも地域別や、職域
 ているニュースを聞くの
 んな消息を載せたいと思

仙台にも同窓

高 中・大正十一年卒
 高之助氏（元東北大学工
 教授）から寄せられたお
 によりまして、仙台にも
 高校同窓会があり今年五

様に各地で同窓生の集まりが年々盛
 りですが、年次別、クラス別の集
 学園等での同窓生の集まりが精成
 殖したいことです。今後はこの会報
 ますのでお便りをお寄せ下さい。

十九才、変わらない母校愛を
 感激すると共に、何時までも
 ご壮健で後輩の面倒をよま
 しくお願い致します。

学部
 那須
 学郎
 便り
 高松
 月七

最初に昨年の総会から平成元年の総会までのぐくまれた方々の御礼をお言ひ願ふ。そのおきぎたりの御賀詞、祈る熱誠を捧げました。支部長様御自身のあつと、この四月廿世母校の近況及び御挨拶がけられた。退職になり、新しく御就任にいらした。校長先生は御挨拶がけられた。母校の近況及び後輩の方々の進歩の状況やスポーツ等活動をお承りしました。それから御賀の高田生員賞賜先生、玉塚会副会長で四聖堂会長の社務、理事の脇坂、御紹介をさせていただきます。そのあと親類会になりました。大杜会様の幹事の御担当ではじら

夢を願ひ致しました。金魚の隅までごく大きい若々いお声をお聞きし、お知であんなう若々しいお姿、拝見しました。どんなにか感激致しました。

今迄の横で東條様が何年の様バザをお開きになった筈にとでは、とても棄るの、つて、マ会のために御お支払いをいたしてあります。

又東條様が図書館へがれたとして調べには、戦前の小学校歌を汎用し、つてあんなで調たなかと、こんな昔の歌の方が、たとへば、御幸の方が、感心しました。

この方達が晩業委員の御子息
あたりで、ついお話に花が咲
たりとお慶かしく、あちこちで
なごやかな事で、あちこちと
最後に、みれとあかね、玉藻
浦一ではじまる女生時代の、
今年度の出席は、員外一名で
ございました。

事務局 馬場幾子方

また、平成年度は、母校
百周年記念行事（十月予定）
控え、十月一日午前十一時よ
大阪・上本町一都ホテルで
十年卒の絆（絆の絆）に
開催されることであります。
本年を上回多数の（参加
願ひ申し上げる）ともに、皆
の健康と母会が主業のた
の発展、そして百周年記念
ご褒を筑ぎつつ、平成四年
会の報告させていただきます
京阪神支部長 芦原重雄

創立
を
り、
三
より

をお
す
様
登
々
。縁

今回本校からは、四月にござい
されたばかりの副校長・校長
先生は、福家教頭、興田、柴
各先生、本部からは綾田会長、
バトンリッチさん大西副主理
長（昭和
十七年）
植田正太
郎副会長
樋谷啓昌
理事等を
お迎えし
て賑やか
な会にな
りました。
総会で



新任校長先生から、母
田の
から
新会
就任
杉岡校長先生からは、母
百周年への取り組み、玉
T.A. 学校が一体となっ
業計画について話されま
また、大西校長は周年祭
県保協会として県内外を
ぜひ意欲を込めて自らに
一層努力が期待される。
引き続きわれわれ親会へ
つながらの連携で再会を
楽しい、ひととき過して
岡田聖会会長 辻孝夫

東生家会長 大島 功

大島会長は六日二日
（遅られました）。

阪神晩翠会士

御出席をいただきました。
十一時開会 池内様（昭和十

ま 旨の席次を頂きまし
す原は、故郷青森へ、産業
技術の発展に役立てるいう趣
で、僱用を寄付されてられま
が、当日もお元氣な姿で皆様
に挨拶しておられました。
一人事務所は、本部、西新
長から、倉敷新事務所百周年
を記念して、故郷青森へ、産業
技術の発展に役立てるいう趣
で、僱用を寄付されてられま
が、当日もお元氣な姿で皆様
に挨拶しておられました。

川福 さんの協力によるが、
 ついに古く「つみをねがう、
 だんじり」の日のあ時の思出
 まで近況報告に蜀は談笑あつ
 ちききと語りあつた。
 一時を置いて、香川大教授
 「さぬき」と研究会（会費を
 とめておられる島田先生がら）
 会の中での、この秋の十一月
 京阪神の梨会堂総会への当
 をされる二十六年御筆案内
 六名様が出席下さいまして、
 一月の会合（一人ももの晩
 食員）の出来（一人ももの晩

うなはにでつめには十々々番に

「ご来賓を始めたとした、高松山からご来賓の皆様方、そして部会員の皆様方、きんば広告宣伝作成におありまゝは広告費も多大なるご支援をいただきさる方々にこの御面をお借りして、より礼申上げます。」

なほ、札幌市において、代表者奥村勝氏から、来年「母校周年記念事業」際して、支部として本館に旨内の寄附をして、しるすの提がたを、満ち満ち致で認されたいことを、お聞かしました。（幹事田代昭和とお話）

生がいっしょに進む同志会だ。同志に力加わって欲しいという方々に在るの同志会を推進、同志会になることを希望するものとする。そして、その百周年行事が盛大なものと祈願すると付け加えられまし

岡山市議会
大西新会
第十回 岡山県会は平成
開十七日に岡山ラザサオ

の一人として、仙台で待てず、母校でおておこす。

上野 準

玉翠会

長をお迎えして

は、事業報告に続き、詳細報告、目録、改選が行われ、何れも原稿が送られてきた。ご賞賛を承りました。

つ、無事十周年記念総会も閉幕となりました。

総会準備には例年、各卒業年度の幹事諸氏、とりわけ前高卒業後二十四年目の総会担当幹事団の苦勞はひとしおです。また、いつも故郷高の大勢のＯＢＢ力をお借り致します。しかし、こうして東京市立高の伝統が案かろう十年になります。平成五年はおもしろい年です。平成五年は、母校高高校の創立周年の記念会、また年に当たるとのことです。かかす、また盛大に東京市立高が開催される、とも思います。

着任された岡原・新校長をはじめ、桐家敦樹先生、田辺、糸目両先生、本村から西田前校長の後を引き継がれた西澤新一会長をはじめ、大社社長、今澤暉子副会長、岡山寮会から船健一事務局長の巨肩を賜り、盛大なうちにまた新たな総会が催れました。

開会に、まず、菅原義重支部から、「新会長のもと、来年度、母校百周年に向けての玉葉会・益の発展」、新校舎、新校長のもと、の母校の新たな伝統息吹を期待

親親会は大社ヒササ本部副会
のご発声による乾杯で始まり
「千里阪急ホテル」の好意によ
多彩な料理と本流手打ちうどん

また、市議会選挙の近頃、
える会報も用意され、うちと
歌談の輪が広がるなか、来年
事団三十七年度の目標が壇上
い、代表で横倉彦さんから
にに向けて抱負等力強く挨拶が
会場の様相から励ましており
暖かいうちが姿は盛大な
こうして観客の宴は盛んな
にもなごやかに春開気で進み
中学校、男女水泳、高校校歌
春の日々そのまの力強い歌
合唱され、満ち満ちた平成四
会報の発行を閉じることができ

日に東北北に進学の新会
名の歓迎を兼ての同窓
開かれ、十人が参加した
間。更に仙台高がくた
松と縁が深く、高松か
に直接援助する人が多
特に小平高明先生は高松
校長から仙台第 中學校
運動され教員に尽力さ
仙台は歴史、心く、風光
学園の地、心を鍛へ
最高のもの、で後輩各位
北大学（教員連）二人の

同窓会機関紙発行紙

この抽籤券の売上は防共への、また
ブレンデットされている。この
れ、戦前の慣習とは、大圖書寄贈
にあてられました。大騒ぎのうち
にの「アトラクショ」が終了する
と、その年々総会もお開に近づき
ます。四年度総会指揮の幹事、
四年卒業代表新組の君の援護
次回総会幹事四年生有志の紹
介があり、全員で校歌を唱です。
壇上にはかつてならし応援団O
日も並びました。この大唱で、同窓
会も高潮です。また年々、また
来年度の声があちこちと交わされ

平成四年度、奉委、京阪神支部
会は、十一月七日(午後十二時
十分より大阪千里ニュータウン
にある「千里阪急ホテル」に
央に、本年卒の大先輩を
新進の若輩で「百発」の
模が集い、盛大に開かれまし
た。

当日は、「ご来賓として、母校
に四月に塩井段校長の後任とし

急行の準備状況を中心に、ま
杉岡校長からは新校のもとと
る二十世紀に国際社会を羽
ばたかすべく、木村校長は
く材を育てていきたい旨のお
話があった。

その後、ご来賓の方々の紹介
前年卒の幹事を代表し織田久
子さんから会計・活動報告が
行われ、親会に移りました。

きたる話と美わ
総会
目万円を贈る
きうどんの串やおいしさをのべて
についてスラヴを使った興
のお話があり、さめき出身の
の皆様も熱心に聞き入って
た。この「山田」さんによる、
うどん「真盛」先生のお話を記念
お土産としてさめきうどんを用
たしました。皆様にお喜び
持ち帰りになっていました。

このページにご紹介し
 になつていくのは楽しい四
 以外にも地域別や、職域
 ているニュースを聞くの
 んな消息を載せたいと思

仙台にも同窓

高 中・大正十一年卒
 高之助氏（元東北大学工
 教授から寄せられたお記
 によりまして、仙台にも
 高校同窓会があり今年五

様に各地で同窓生の集まりが年々盛
 りですが、年次別、クラス別の集
 学園等での同窓生の集まりが精成
 殖したいことです。今後はこの会報
 ますのでお便りをお寄せ下さい。

十九才、変わらない母校愛を
 感激すると共に、何時までも
 ご壮健で後輩の面倒をよま
 しくお願い致します。

学部
 那須
 学郎
 便り
 高松
 月七

大に
も
し

王は
回
立っ
意四
四
で発
と
とお
城々

一

台、役
案通
代表
校創
記念車
事業と
成功
でも

は、い
歡び全
したた